

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0902021

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 事業期間 平成24年度～平成26年度 全体事業費 66,000千円 ・路線測量、工事設計 ・路網整備工事 L=3km
基本施策	2 林業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 生産体制の強化	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	町有林路網整備事業	見直し年度		
事業期間	平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	効率的な森林施業		#N/A	
事業目標	路網整備 L=3km	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名	1 ⇒ 雄武町森林整備計画	

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	路線測量、工事設計					路線測量、工事設計
計 画 事 業 費	事業費(千円)	15,000	0	0	0	15,000
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	15,000				15,000
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	9,660	0	0	0	9,660
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	9,660				9,660
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	0				
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) ○森林整備加速化・林業再生事業補助金  【評価・実績】	(実施内容等)  ※前年度評価結果	(実施内容等)  ※前年度評価結果	(実施内容等)  ※前年度評価結果	(実施内容等)  ※前年度評価結果	(実施内容等) 路線測量、工事設計  ※前年度評価結果
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値				路線測量、工事設計
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	0%	0%	0%	0%
		事業進捗状況				☆☆☆☆

事業名 町有林路網整備事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井 弘道
	評価者 作成者 職氏名	林務係長	福田 泰弘

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町有林	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	路線測量・工事設計								
【抱える課題やニーズは】	効率的な森林施業を行うための路網整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	林業経営の安定化	① 測量、設計延長 /測量、設計延長の実績	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>3 km</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>3 km</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0 %</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	3 km	実績値	3 km	達成度	100.0 %
目標年度	平成24年度										
目標値	3 km										
実績値	3 km										
達成度	100.0 %										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	森林資源内容の充実と生産力の増強を図り、森林の持つ多様な機能を高度に発揮させる。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0! %</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0! %
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0! %										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による委託の実施	入札により民間業者に委託し、路線測量・工事設計業務を実施。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	生産体制の強化を図るための事業であり、効率的な森林施業、木材の安定供給を行うため、路網整備が必要である。当該事業を実施しない場合、森林資源の確保や有効活用に影響を及ぼす。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施することにより、林業経営の安定化が図られる。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	森林整備加速化・林業再生事業による北海道が示す林業専用道規格に沿って設計しており、事業コストは妥当である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	事業費全額が補助金(森林整備加速化・林業再生事業)の対象となるため、町の負担は無い。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
林業経営の安定化を図るためには、路網整備が必要不可欠であるため、今後も計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		



今後の展開方向(Action)	継続/現状維持	
	路線測量・工事設計の結果に基づき工事を発注するものであり、路網整備が終了するまでは継続、現状維持が適当であると判断する。	

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止